



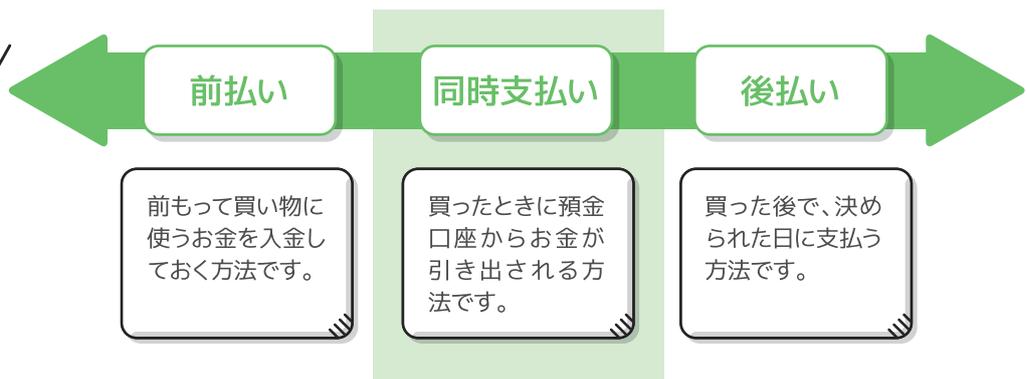
# キャッシュレスでの買い物と支払い



## ⚠️ キャッシュレスでの買い物と、3つの支払いタイミング

電子マネーやクレジットカードを利用して、現金を使わずに支払うことを「キャッシュレス」といいます。キャッシュレスで支払いをするとき、お金を支払うタイミングは「前払い」「同時支払い」「後払い」の3つに分かれます。ひとことでキャッシュレスといっても、お金が支払われるタイミングは、利用する支払い方法によって違います。

支払いタイミングは、3つなんだね!



# 買い物の場面を見てみよう

キャッシュレスでの買い物について、どんな場面があるか見てみましょう。

## 前払い

### コンビニで買い物をする

たとえば小銭で買えるくらいのお菓子をコンビニで買いたいとき、あらかじめ決められた金額まで買い物ができるプリペイドカードを使えば、小銭を出す必要はありません。



### ファストフード店で食事をする

ファストフード店で会計するときなどに、事前にお金を入金した電子マネーを使えば、専用の機械にかざすだけで支払えます。急いでいるときも、すぐに支払いができます。



### 洋服代を支払う

現金を用意しておくことなく、洋服のようにちょっと大きな買い物をしたいというときは、会計と同時に銀行口座から代金が引き落とされるデビットカードが便利です。



### QR/バーコードを読み取って代金を支払う

## 前払い・同時支払い・後払い

たとえばスーパーやドラッグストアで買い物をするとき、スマートフォンの画面にQR/バーコードを表示させて店側に読み取ってもらう、あるいは店側が提示したQR/バーコードをスマートフォンで読み取り、金額を入力することで代金を支払うことができます(代金の支払い方法はp24参照)。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



### クレジットカードでネットショッピングする

ネットショッピングで買ったものを支払う場合に、クレジットカード(P22参照)を使えば、後日、あらかじめ決められた日に、自動的に銀行口座から引き落とす(支払う)ことができます。



## 後払い

### ダウンロードした音楽の料金を支払う

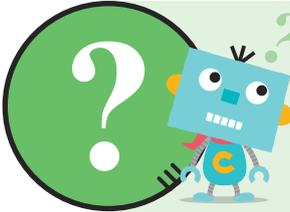
スマートフォンやパソコンで、音楽のデータをダウンロードした場合、その料金だけを支払うのではなく、携帯電話の利用料金とまとめて支払うことができます。





# いろいろな決済方法

ネットショッピングで  
洋服を購入



たとえば、ネットショッピングで洋服を購入したとします。その決済方法には、様々なものがあります。

## プリペイドカード

プリペイドとは、「前払い」という意味です。たとえば、3,000円のプリペイドカードを買った場合、3,000円までの買い物に使うことができます。プリペイドカードは、コンビニなどでも手軽に手に入ります。

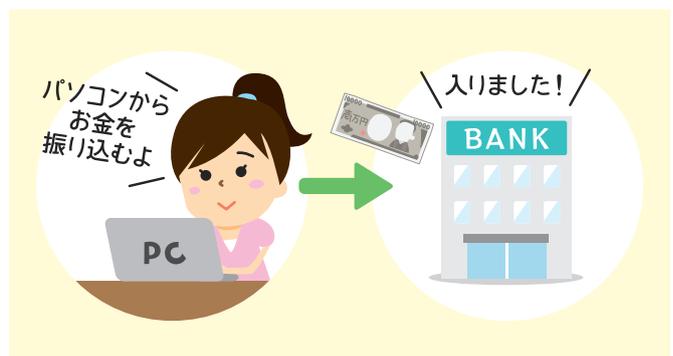


## デビットカード

デビットカードは、買い物をするのと同時に銀行口座から代金が引き落とされる仕組みです。買い物のために銀行から現金を引き出さなくても、口座に入っている金額までなら現金を持たずに買い物ができます。

## 銀行振込み

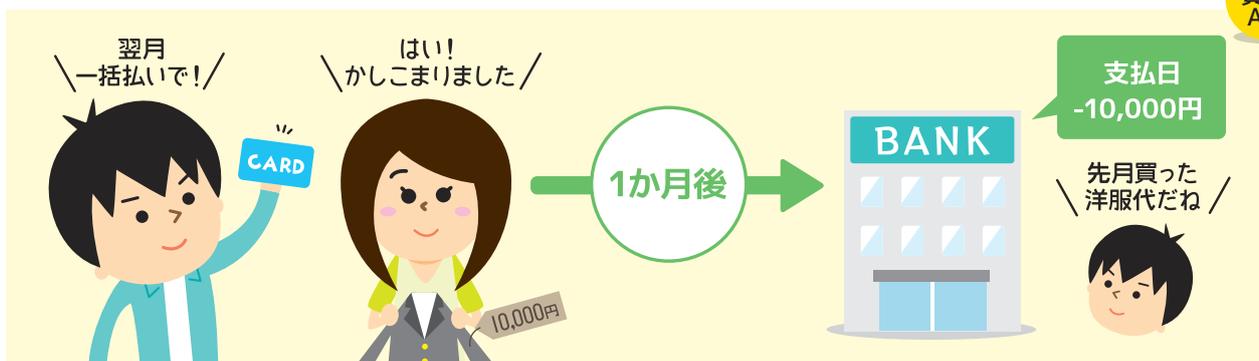
自分の銀行口座から、指定された銀行口座にお金を振り込みます。銀行店舗やATMに行ってお金を振り込むだけでなく、スマートフォンやパソコンでインターネットを利用して振り込むこともできます。



## クレジットカード

買い物をした代金を、後払いで支払う方法です。代金は、自分名義の銀行口座から、後で引き落とされます。支払い方法は、買い物をした翌月に1回で支払う「一括払い」や、3回、6回、10回などに分けて支払う「分割払い」などがあります。クレジットカードは、手元や口座にお金がなくても買い物ができるメリットがあります。そのため、支払い能力に信用がないと持つことができないカードです。(P30参照)

>>> 資22  
A-B



## QR/バーコード決済

ブラウザ上に表示されたQR/バーコードをスマートフォンで読み取る、あるいはQR/バーコード決済用のアプリと連動させることで、買い物をした代金を支払う方法です。先に現金でチャージを行う、支払いと同時に銀行口座から代金を引き落とす、登録したクレジットカードで支払う(後払い)など、支払い方法は様々です。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



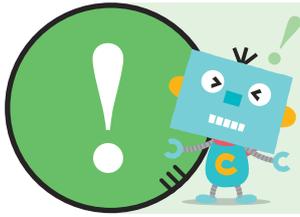
## コンビニで支払う

振替用紙や振込票番号を控えたメモをコンビニに持っていけば、コンビニのレジで代金を支払うことができます。コンビニが相手先に支払ってくれる仕組みです。

## 代引き

購入した商品が届いたとき、商品と引き換えに代金を支払う方法です。宅配してくれた人にその場で支払います。





お店に行ったときに  
活用できる決済方法も見てみましょう。

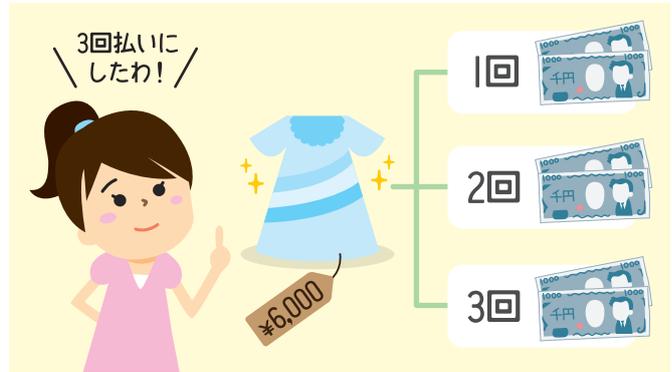


### 分割払い



購入代金を1回ではなく、何回かに分けて支払う方法です。分割回数を何回にできるのかは、利用する会社によって異なります。また、分ける回数によって手数料がかかるため、支払う金額も変わります。

※手数料は省略しています。

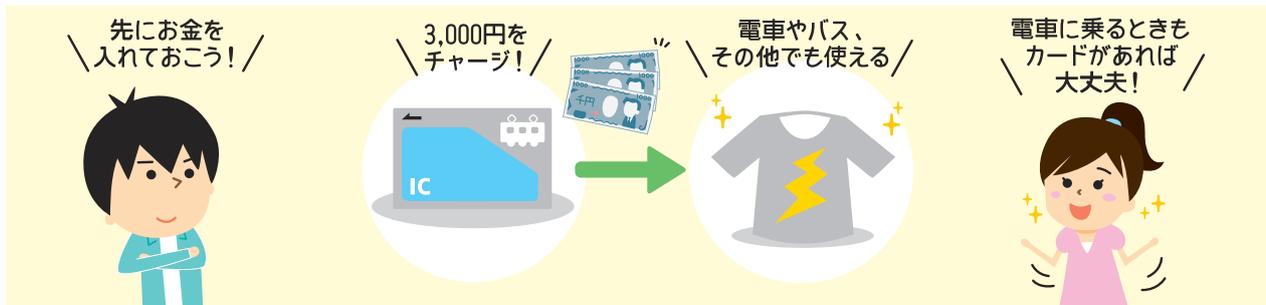


### 電子マネー(プリペイド型)



電子マネーの機能が付いたカードなどに事前に入金した分だけ、支払いに使うことができます。交通系の電子マネーは、定期券や切符代わりに使われることが多いですが、入金してある金額までなら洋服など別のものに使うこともできます。電子マネーの形はカードだけではなく、携帯電話のアプリなどになっているものもあります。

※電子マネーの中には、後払い型のタイプもあります。



### 状況に応じて決済方法を使い分けよう

様々な支払い方法があるということは、自分にとって便利な方法を選ぶということです。使い分けるポイントとして、手数料の有無や、前払いか後払いかなどの支払いタイミング、そして支払いにかかる時間などが挙げられます。それぞれの特徴を理解したうえで、自分に合った方法を選びましょう。

臨機応変にね!



特徴を知って自分に合った方法を賢く選ぼう!

## !! どんな人でもクレジットカードは作れる?

クレジットカードは、審査によって支払能力があると認められれば作ることができます。ただし、申込条件を「高校生を除く満18歳以上」と定めているカード会社が多いようです。なお、クレジットカード以外にも支払いに使える様々な手段があります。



### 支払い・カードの特徴分類

>>>  
W24

支払いのタイミング	種類	注意点
前払い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プリペイドカード</li> <li>○電子マネー (プリペイド型)</li> <li>○銀行振込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くのプリペイドカードには有効期限が決められているので、使用できる期間を確認しましょう。</li> <li>○電子マネーは、チャージした金額が不足した場合、不足額は現金で支払います。</li> <li>○銀行振込みは、銀行口座の預金残高が足りない場合は、支払えません。</li> </ul>
同時支払い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デビットカード</li> <li>○代引き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デビットカードは、銀行口座の預金残高が不足すると、引き落とし(支払い)ができません。また、ネットショッピングの場合は、デビットカードでも商品入手前に支払うことになります。</li> <li>○代引きは、代引き額を手元に用意しておく必要があります。</li> </ul>
後払い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クレジットカード</li> <li>○分割払い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの方法でも、手元にお金がない状態で使えるので、使いすぎる可能性があります。支払い日に口座残高が不足しないように気を付けましょう。</li> <li>○分割払いは、返済回数によって、支払い終了時期が異なります。</li> </ul>

QR / バーコード決済

※電子マネーの中には、後払い型のタイプもあります。  
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



# ポイントサービスの仕組み

## ！ポイントとは？

ポイントとは、買い物をしたときなどに条件に応じて会員に与えられるものです。買い物額によってお店の専用カードにポイントが付くものや、クレジットカードの利用代金に応じてポイントが付くものなどがあります。ポイントは、次回以降の買い物で、買い物代金の一部として使うことができます。

### ● 企業やグループ、提携によって展開されるポイントサービス ●



## ！家計管理の中でのポイント

買い物によって付いたポイントは、お金と同じように貯められます。そして、ある程度貯まったら、現金と同じように利用したり、品物と交換したりできます。現金として使えば、ポイント分だけ現金を節約できたのと同じこと。上手に貯めれば、家計にも役立ちます。

### ● ポイントの活用例 ●



&gt;



航空会社の  
マイルに交換

or



買い物代金に充当

or



1,000ポイント分の  
商品と交換

## ！ポイントの付き方はいろいろ

ポイントの還元率(ポイントが付く割合)は、「100円につき1ポイント」つまり代金の1%が一般的です。ただし200円で1ポイントだったり、100円で1.5ポイントだったりするカードもあります。また、キャンペーン中は還元率が増える場合もあります(たとえば、2倍に増えるなど)。ポイントをつける会社によって、還元率は様々です。



どっちのポイントカードのほうが還元率が高いかな？

### 還元率の違い

		<b>100円で 1ポイント</b> 還元率が1%
		<b>200円で 3ポイント</b> 還元率が1.5%

### ・ポイントの価値を見極めよう

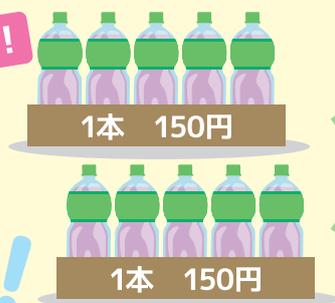
ポイントを貯めていると、ポイントの還元率が高い日に多めに買い物をしたくなるかもしれません。ポイント10倍！など高い還元率の宣伝を目にする機会もあるでしょう。とはいえ、ポイントを貯めるために買い物をするのは本末転倒です。必要ないものまで買わないように注意しましょう。

A店

ポイントは付くけど  
商品が高い

ポイント10倍!

ポイントが貯まる!  
10本買おう!



- 支払い金額  
150円×10=1,500円
- ついたポイント  
150ポイント(150円)
- 実質1,350円

B店

ポイントはないけど  
商品が安い

SALE!

こっちのほうが  
安かった…!



- 支払い金額  
130円×10=1,300円

※税金は省略しています。

CHECK!

- ポイントを貯めるための買い物はNG
- 金額に直すといくらになるか、考えてみよう

ポイントと  
賢く付き合おう!



賢くポイントと付き合っ、家計に役立てよう



# キャッシュレスでの買い物の注意点

電子マネーやクレジットカードを利用すれば、現金を使わなくても買い物ができる場面が増えています。しかし、買い物した時点ではお財布から現金が減らないので、お金を使った実感が持ちにくい面もあります。どのような注意点があるのか確認してみましょう。

>>>  
ワ27



注意

立て替えたお金を受け取ると、手元のお金が増えたような気がしますが、後で支払うときに必要になるお金として扱きましょう。



## 1 お金を使った感覚になりにくいので注意

キャッシュレスでの買い物は、手元に現金がなくても買い物ができるため、お金を使った感覚になりにくく、つい無駄遣いしてしまうことがあります。だからこそ、キャッシュレスで買い物をするときには、本当に必要なものなのか、その価格でも買いたいものなのかをそのたびに考えましょう。

## 2

「お金がなくても  
カードなら買える」はNG

クレジットカードは手元にお金があっても、利用限度額の範囲内で自由に買い物ができます。特に、はじめてクレジットカードを作ったときは、自由に使えるお金が急に増えるため、使い過ぎに注意が必要です。カードは利用する目的と予算を決めてその範囲内で利用しましょう。



## 3

カードは管理できる  
枚数だけ保有する

キャッシュレスで買い物ができる便利なカード。しかし、たくさんカードを持っていると、支払い額やポイントの管理が複雑になりがちです。また、使っていないカードも、持っているだけで年会費の支払いが必要なカードもあります。普段からよく使うカードを絞り、使用頻度の低いカードは思い切って解約してしまいましょう。

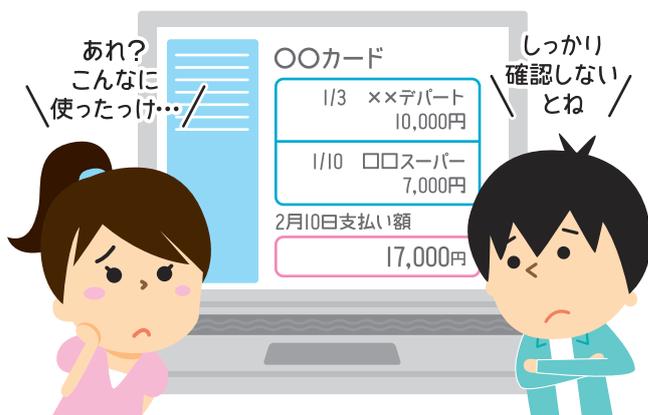


## 4

カードや電子マネーの履歴は  
定期的にチェックしよう

上手に使える便利なカードですが、管理をしないと支払いに追われる可能性があります。手元のお金がなくならず、お金を使った実感が持ちにくいからこそ注意が必要です。

家計管理のためにも、利用した日にメモをしたり、パソコンやスマートフォンから定期的に利用履歴を確認することが大切です。



便利に使うだけでなく管理も重要!